

## 9月定例山行(記録)

### 武甲山(1304m)

日時 9月10日(土曜日) 天候 曇り後晴れ  
集合場所 川越駅ホーム待合室 6時20分  
アクセス (往路) 川越 6:30—小川町 7:23—寄居 7:48—御花畑 8:28  
タクシー—西武秩父駅 8:40—一の鳥居 9:00  
(復路) 浦山口駅 16:58—寄居 17:55—小川町 18:28—鶴瀬 7:10

コース 一の鳥居 9:20~不動滝 10:00~大杉 11:00~武甲山頂 12:00  
(昼食) 武甲山分枝 12:50~長者屋敷の頭 13:50~橋立川登山口 15:00  
橋立鍾乳洞前、甚太郎茶屋 15:55~浦山口駅 16:30 着

歩行時間 6時間

交通費 2700円(プラチナルート乗車券 1900 タクシー800)

参加メンバー 1 ①嶋村 笠原(恵) 伊志嶺 佐藤  
15名 2 ②会田 高草木 笠原(さ) 染谷  
3 ③狩野 高橋 新井 宮沢  
先頭(SL) 福寿谷 後方(CL) 大曾根 サポート 才田

会山行として武甲山は初めてと、タクシーで登山口まで乗付けるのも初めてで、一の鳥居に着くと駐車場はマイカーで溢れていた、登山届を投函、準備体操後、班ごとに出発する、二日前に降った大雨で沢水は濁り、不動滝の水量も増していた、表参道は一丁目から五十一丁目までの石塔が目印に立っている、樹林帯の登山道で涼しさを感じる、三十一丁目大杉の広場に出る、これより登りはきつくなり足元には石灰岩が現れ五十一丁目が見れると肩の分枝につく、右方向に上ると御嶽神社があり、裏側を少し登ると山頂に、薄雲が広がり微かに秩父市街地が見渡せる記念写真をとり、神社前広場で昼食にする。

肩の分枝の右コースをとる、植林されたカラマツ林を下り、広葉樹林を下る頃には陽射しが出てきた、急勾配を下ると長者屋敷の頭につく、後からついてきた二人の若者が追い越していった、小休息後、緩やかな下りが続く左手彼方に大持山、子持山が見渡せる、足元には大きなキノコの群生でビックリする、緩やかな下りから一転して杉樹林帯の急な下りに差し掛かり、九十九折登山道で下る、下り終わる橋立川にでた、先程追い越していった若者が裸で水遊びを楽しんでいる、川を渡ると橋立登山口にでる、長い林道を下ると橋立鍾乳洞前の甚太郎茶屋にでて、一服タイム、各酒肴で喉を潤す、茶屋を出て間もなく浦山口駅着、皆様のご協力ありがとうございました。

記 大曾根